



### 新しい[認知症学] ～早期診断・早期治療～

介護老人保健施設 ハートケア西宮渡辺 施設長 池田 公行

いよいよ夏がやってきました。介護老人保健施設 ハートケア西宮渡辺も開設3ヶ月目を迎え、徐々にではありますが軌道に乗つつある段階です。

今回は、まったく新しい認知症の考え方を1つご紹介しましょう。

『認知症』の症状は、長い間『物忘れ』であるとされてきましたが、最近金子( )は認知症の早期の症例の分析結果より、人間の最高次脳機能を司っている前頭前野の障害こそが認知症の本態であるとして、意欲低下、機転・自発性・計画性の低下などが真の認知症の始まりの症状であると述べています。そして、認知症の軽い症状が出始めてから重症になるまでの時間的経過は、3～4年しか掛からない上、重症のレベルまで進行したものは治しようがないとしています。

このような新しい考え方が、ただちに一般的に受け入れられるものでもありませんが、金子は軽度～中等度のレベルであれば、脳リハビリなどの方法によって回復可能であることから、他の生活習慣病と同様に、老年期認知症においても、早期診断・早期治療の必要性を強調しています。

以下に、金子の早期発見のコツを紹介しておきますので、思い当たる症状のある方は、一度【物忘れ外来】を受診してみられてはいかがでしょうか。

軽度認知症 --- 外見はふつうだが ---

- 無表情、無感動の傾向が見られる
  - ボンヤリしていることが多い
  - 生き甲斐がない
  - 根気が続かない(何でも面倒くさがる)
  - 発想が乏しく、画一的になる
  - 1日や、1週間の計画が立てられない
  - 機転が利かず、仕事をテキパキとかたづけられない
  - 反応が遅く、動作がモタモタしている
- (歩行も、手の動きも)

同じことを繰り返して話したり、尋ねたりする  
(買い物も、同じものを買ってくる)

相手の意見を聞かない

以上のうち4項目以上当てはまると、軽度認知症と判定できる。家庭内での生活は、とくに問題ないが、推理、創造、意欲、忍耐、記銘、注意集中、神経分配、ユーモア、とんち、計画性、鑑賞、決断力などの機能が低下している。

中等度認知症 --- レベルは幼児と同じ ---

何度教えても、日付があやふやになる(月はわかる)  
身だしなみに無頓着になる

今までできていた簡単な仕事ができない

(例えば草取り、洗濯物の整理など)

ガス・風呂の火・電気の消し忘れ、水道の締め忘れが目立つ

料理がうまくできず、味付けがときどきヘンになる  
薬をきちんと飲めない、家族がいつも気をつける必要がある

季節や目的にあった洋服を選べない

昨日のことをすっかり忘れてしまう

お金や持ち物のしまい場所を忘れ“盗まれた”と騒ぐ  
簡単な計算ができない

重度認知症 --- 実生活がむずかしくなる ---

同居の家族の名前や関係がわからない

上着に足を通したり、ズボンをかぶったりして、服が一人で着られない

汚れた下着をそのまま着る

以前はよく入浴していたが、最近は風呂を嫌がるようになった

食事をしたのに、食べたことをすぐ忘れる

(また食べると云う)

しばしば自分の家が分からなくなる

家庭生活(入浴、食事、排便など)に介助が必要になる

独り言や、同じ言葉の繰り返しが多い

誰もいないのに、“人がいる”などと云ったりする  
大小便を失敗することがあり、後の処置がうまくできなかったりする

以上のうち、3つが当てはまれば、重度認知症と判定できる。4歳児、又はそれ以下のレベルである。世間一般に云われる「ボケ」の状態であり、ここまでくると、もはや手遅れ。

(※) 参考図書 講談社

金子満雄著

『浜松方式でボケは防げる治せる』



# 新施設のご紹介

特別医療法人高明会の新施設として、5月15日に介護老人保健施設『ハートケア西宮渡辺』が、6月1日に心臓・血管疾患に特化した急性期病院『西宮渡辺心臓・血管センター』がオープンしました。今回、それら新施設について簡単にご紹介させていただきます。

## ハートケア西宮渡辺

所在地 : 〒662-0911 西宮市池田町3番25号  
電話 : 0798-36-5222 FAX : 0798-36-5110



### お部屋

入所者さまのお部屋です。  
安心して安全な生活を送れるよう医療的な機能を持ちつつ、決して無機質なものではなく、木や障子などを使って快適な生活を送っていただいております。

### お風呂

当老健自慢のお風呂です。  
入所者の皆さまに楽しくリラックスした入浴タイムをもっていただけるよう、温かみのある木を基調に広くゆったりとした設計になっています。



### 談話室

入所希望者さまとの面談や、入所者さま・ご家族さまとの面談などにご利用いただいております。

### 中庭・職員食堂

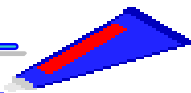
5階の中庭と、職員食堂です。  
写真では伝わりきれませんが、南・西・北と3方向がパノラマビューになっており、西宮のシンボル甲山や、六甲山がくっきりと見え、とても素晴らしい眺望です。



### 多目的ルームでのお誕生日会

4階多目的ルームです。  
入所者の皆さまが談話されたり、レクリエーションを行ったりしています。  
6月21日には、5・6月に誕生日を迎えられた8名の入所者さまのお誕生日会が開催され、ケーキを食べたり、歌を歌ったり、体操をしたりと、とても楽しく有意義な時間を過ごされました。

# 西宮渡辺心臓・血管センター



所在地 : 〒 662-0911 西宮市池田町 3 番 25 号

電話 : 0798-36-1880 FAX : 0798-36-1199

外来受付  
・待合



病室



## 循環器系 X線診断装置 『Allura Xper FD10』

循環器内科・心臓血管外科の疾患の診断・治療を行う上での必須機器である循環器系 X線診断装置として、PHILIPS 社最新装置の『Allura Xper FD10』を導入しました。

この装置は画像解像度が格段に高く、かつ検査時間・被曝線量・造影剤投与量が従来の装置より少ないため、心臓血管疾患の診断・治療における精度の向上と患者さまの安全性の向上を同時に成し遂げた画期的な装置です。



## 全身用 X線 CT 装置 『BrillianceCT64』

PHILIPS 社製 『BrillianceCT64』は、マルチスライス CT の中でも最も高性能な装置で、心拍変動にも CT が追従して機能するため、心拍変動のあった患者さまでも高い確率で診断を行えます。

また、撮影時間が 10 秒以内、検査後の解析時間も 15 分以内と短縮、さらに冠動脈のある程度の状態把握であれば、造影剤を用いなくても判断できる最新鋭の装置で、患者さまの体動を自動で補正できる機能や、学習機能による被曝低減の強化なども大きな特長です。



## 超電動磁気共鳴診断 (MRI) 装置 『Intera Achieva 1.5T』

MRI 装置は、PHILIPS 社製 『Intera Achieva 1.5T』を導入しました。この装置は認識・学習・実行の機能を持ち、今までにない超高速・高画質な画像を撮像できる装置です。心臓および周辺血管の高精細な画像を得ることができるとともに、高速かつ正確な心機能評価を容易に行えるようになっていきます。また、従来のものと比較して、患者さまの体が入る装置の穴が広く短くなり、患者さまに喜んでいただける設計になっています。




## 心臓用超音波診断装置 『SONOS 7500』

心臓超音波検査は、小さな超音波発信器を胸に置いて拍動している心臓をテレビ画面に映し出す検査で、西宮渡辺心臓・血管センターでは、PHILIPS 社製 『SONOS 7500』を導入しました。

超音波検査は無害で痛みがなく時間も 15 分程度で終わるので、患者さまの負担が少ない検査として多用されてきましたが、この装置は循環器領域において今まで不可能であったリアルタイムでの 3 次元動画像を表示することが可能となった世界で唯一の機種で、心臓の構造・動きが鮮明にわかることから、心奇形や弁の観察などに威力を発揮する最新鋭の装置です。





# セカンドオピニオンについて

当院では、患者さまに納得・安心して医療を受けていただく為に、セカンドオピニオン制度を実施しています。

セカンドオピニオン制度とは、患者さまにとって最善と考えられる治療を主治医と患者さまの間で判断するのではなく、主治医以外の医師の意見を聞くことです。つまり、主治医から説明された治療法だけではなく、患者さま自身が他の治療選択肢の存在を知り、そ

の中から比較・検討・納得した上で治療を受けて頂く制度です。

患者さまが納得して治療法を選ぶことは、患者さまが持つ最も基本的な権利であり、当院はそれを最大限尊重したいと考えます。

下記のとおり実施しておりますので、ご希望・ご質問等あれば、お気軽に1階事務所までご連絡下さい。



## +

### 当院入院中・外来通院中の方で、 セカンドオピニオンを他院・他医へ求めたい方

セカンドオピニオンをご希望されることを、主治医までお伝えください。当院他診療科への依頼、または他院への紹介状を準備します。その際、放射線フィルムの貸し出しや検査データのコピーなども準備させていただきますが、コピーにつきましては料金がかかります。

また、病状によってはご希望にそえない場合もありますのでご了承ください。

なお、現在の主治医に対する不満や、医療事故に関する相談には応じられません。  
また相談内容によっては、セカンドオピニオンよりも一般外来の受診をお勧めすることもあります。

## +

### 他院・他医かかりつけの方で、 セカンドオピニオンを当院に求める方

現在の主治医と相談された上で、当院事務所まで連絡を下さい。当院においてセカンドオピニオンをご提供するに適した医師が対応させて頂くために、予約を取らせて頂きます。

その際、『セカンドオピニオン申し込み書』を送付させていただきますので、必要事項ご記入の上、必ず予約日までにご返送下さい。当院での対応が困難な病状については、近隣専門医の情報についても提供させていただきます。

## 看護部 接遇改善推進委員会より

接遇改善推進委員会が発足し、半年が経過しました。昨年度は見よう見まねの活動で過ぎてしまいましたが、本年度は計画的に運営していきたいと、委員一同意気込んでいます。

本年度の最初の活動として、去る5月8日に新入職員を対象にした接遇研修を行いました。

接遇は奥が深く、勉強会を行うだけでは習得にいたりません。頭で考えていても、受け手の立場に立った行動をとることは難しいことです。しかし、『継続は力なり!』という言葉のとおり、研修会を重ね内容を深めていくこ

とにより、職員全体の接遇が向上していくよう、委員会活動を推進していきたいと思っています。

受け手である患者さまや地域の皆さまのお声を聞きながら、より良い病院を目指したいと思っておりますので、お気づきの点があれば院内設置の『ご意見カード』へのご記入や、お声がけいただけたらと思います。



1月のテーマ  
元気にあいさつ



むろかわ News に対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F 出入口に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。